

評価 NO.	13	R5年度 実施計画事業番号	201	事業名	情報収集・発信事業			担当者	重田昌彦			
				事業期間	H17	～		連絡先	内線5327			
担当部課名		総務部 安心安全課										
総合計画施策番号		3-1-1	総合計画施策名		危機管理体制の充実			市民意識調査結果	A 重点改善施策			
①事業概要	実施目的	市民の生命、財産を守るため、防災情報の収集を行うほか、住民に対して適切な情報を迅速かつ正確に伝達する体制を充実します。			具体的方法	防災関係機関や民間気象予報会社から防災情報を収集し、初動体制の強化を図るとともに、いせさき情報メールや市ホームページ、SNSなどの媒体を活用した情報発信を行います。また、総合防災マップを幅広く充実を図り、住民の防災意識の啓発に努めます						
②事業計画	R5年度	●いせさき情報メールの普及啓発 ●FacebookやXでの情報発信 ●情報伝達手段の強化 ●総合防災マップの充実（外国語版改訂）			R6年度	●いせさき情報メールの普及啓発 ●FacebookやXでの情報発信 ●情報伝達手段の強化 ●総合防災マップの充実（Web版） ●緊急時割込放送の環境構築			R7年度	●いせさき情報メールの普及啓発 ●FacebookやXでの情報発信 ●情報伝達手段の強化 ●総合防災マップの充実（Web版）		
	③実績及び目標	R5年度の活動の実績 いせさき情報メールでは、防災・防犯に関する情報に加え、イベントなど多くの市政情報を配信した。また、Facebook・Xについては、定期的に情報配信を行うとともにシステム変更によりいせさき情報メールと自動連係により配信数が大きく増加した。										
		指標名	指標の種類	単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度目標(見込)	R7年度目標(見込)				
		いせさき情報メール配信数	活動指標	件	995	1368	500					
		Facebook・X投稿数	活動指標	件	31	195	200					
④コスト			R4年度決算	R5年度決算	R6年度予算	R7年度以降の予算の方向性						
	事業費計(千円)	10353	8090	65257	現状維持 予算の方向性の理由 令和6年度は同報系無線に代わる新規運用に係る環境構築費用及び経常的経費が必要になるため。							
	国庫支出金	5,242	2,818	4,416								
	県支出金	0	0	0								
	地方債	0	0	48,600								
	その他	0	0	0								
	一般財源	5,111	5,272	12,241								
ローリング及び予算査定時の指示事項等とその後の対応												
⑤評価・分析	項目	評価			評価分析についての理由・コメント							
	妥当性	法令等の義務付け 市民ニーズ	法令等（市条例・要綱を除く）の事務 高い			災害情報の発信手段として、メールやSNSを活用することで情報の多重化が図れるため市民のニーズは大変高く、休廃止することの影響はかなり大きいと考えられますが、令和6年度から同報系無線に代わりコミュニティFMを活用する予定であり、影響が緩和されると思われる						
	有効性	実績(事業計画の進捗) 休廃止の影響	ほぼ計画通り 大変影響がある									
	効率性	経費(人件費含む)の削減 事業の効率性	削減の余地はない 改善に取組中もしくは取組済み									
	公平性	受益の偏り	受益は市民全体に行き渡っている									
		受益者負担	適切である									
	⑥展望等	議会、市民からの要望等	スマートフォン等を持たない高齢者等に対して、どのように情報伝達するのか									
	担当者の意見（この事務事業の将来の展望等）	同報系防災行政無線は、令和4年度をもって廃止したため、新たな伝達手段の導入により情報多重化を図りたい。										
⑦評価結果	1次	評価者	担当課長	評価コメント	平時から適切な情報発信が行えるよう伝達マニュアルの整備及び訓練を行うとともに、情報弱者への伝達手段については、日々進歩する情報通信環境を踏まえて研究を進めたい。							
		事業の方向性	継続									
	2次	評価者	担当部局長	評価コメント	スマートフォン等を持たない市民への情報伝達手段について検討し、令和6年度に新たに構築するコミュニティFMを活用した情報伝達手段の運用を実施したい。							
		事業の方向性	継続									
⑧改善案												

